

1980年度

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

# 交渉部長会議開催さる！

## 五五・一〇ダイヤ改阻止、運用合理化粉碎に むけて、職場からの決起と交渉強化を確認！

動労千葉は、一九八〇年度交渉部長会議を、八月八日～九日両日にわたって、千葉職員集会所において開催した。

この会議は、目前に迫った国鉄三五万人体制攻撃の初年度としての五五・一〇ダイヤ改悪さらには、動力車乗務員運用合理化という恐るべき政府・国鉄当局の攻撃に対し、その本質・狙いを明確に見据える中から、反合の闘いを職場を基点として確立し、交渉体制の強化をもって、敵と敢然と対決し闘い抜くことなどを中心として多くの論議がかわされた。

五五・一〇ダイヤ改悪それ自身のもつ政府・国鉄当局の邪悪な意図を完全に粉碎する闘いは、合理化絶対反対の立場を堅持し、闘い抜く万全の体制確立と交渉の充実強化をちちとる中で、攻撃それ自身を粉碎するという反合の基本的取組みを全体で確認し、それぞれの職場で総決起することを意志統一し成功裡に終了した。

### 合理化絶対反対の立場で 交渉強化する！

第一日目、高橋交渉部員の司会で始められた会議は、座長に白石交渉委員を指名し、議事に入った。

本部闘争委員会を代表して挨拶に立った中野書記長より、五五・一〇をめぐる全体情勢、国鉄三五万人体制攻撃の本質と狙い、五六・三燃料延長策動を射程に入れた五五・一〇ダイヤ改のもつ意味動労千葉としての具体的な闘いの展開など細部にわたっての提起とあいさつが行われた。

次いで、山口交渉部長より「五五・一〇ダイヤ改悪阻止の取組みについて」の問題提起の後、質疑に入った。

質疑に入り、傍聴者を含め、参加した各支部代表より活発な意見が多く出された。

①五五・一〇に対する国労中央の対応と共闘について、②五五・一〇における機関車乗務員の運用合理化の実態、③運転保安闘争の充実強化、④検修関係要員合理化反対の闘い、⑤五五・一〇をめぐる動労「本部」の屈服方針への怒り、⑥攻撃的な反合の闘いの構築、⑦幕張区の事前作業について、などが出され、これに対し、本部側よりそれぞれ回答が行われ、最終的に、「五五・一〇」

↓運用合理化攻撃に対しては、職場生産点の闘いを背景に、合理化絶対反対の立場で取り組むことが確認され、第一日は終了した。

第二日目には、各支部からの要求事項の提出、説明が行われ、五五・一〇ダイヤ改に対する要求集約を行い閉会した。

国鉄分割論は三五万人体制は支配者側からの八〇年代の国鉄づくり！

五五・一〇ダイヤ改悪は、国鉄三五万人体制の初年度の攻撃であり、この攻撃をとおして、職場既得権・慣行を破壊し、国鉄労働運動を解体せんとする政府・支配階級の意図は明白である。

今日の攻撃は、国鉄の在り方そのものを改変するためには、企業の目玉商品に新幹線をも削減するという通常考えられない施策をうち出してきており、民託大巾拡大をとおして、国鉄をタテに割ること、このことを中心に、労働者の闘う意欲、団結をくずしてゆくことが本質である以上、反合闘争はすぐれて組織問題といえる。

政府・国鉄当局の八〇年代の「国鉄づくり」ともいえる攻撃を「五五・一〇」を起点として、総力で反撃する体制を確立しなければならぬ。

全組合員のみなさん！  
われわれは、動労「本部」のように、「合理化絶対反対」といっても空語であるなどと泣き言を並べる前に、反合の原則に立ち、労働組合が力を失ったとき、闘争放棄したとき、敵はより凶暴化することを肝に銘じ、闘いに立ち上がるではないか。

